

支流があり、これが合流して1つの流れとなっています。

この辺りをあちらの岸、こちらの岸と渡りながら歩き、午後5時ごろ、ようやく川幅14メートルほどの空知川の上流に出、西岸に渡って野宿をしました。この辺りはツツジやシャクナゲが多い場所です。夜になると、身の丈が1.2メートルほどの熊が川に向こう岸にいるのを見つけたので、犬に追わせて崖の下に追い詰めて、獲ることができました。

一すじに 己が命を 的として

おもひ射る矢ぞ 何あやまため

（この矢は、自分の命を標的にする気持ちでひたすらに射る矢だ

どうして撃ち損じることがあるだろうか）

すると、一緒にいた飯田氏もその近くに

飛雪刀風歩欲窮 已聴一吼響長空

飛雪刀風、歩くに窮さんと欲す 已に聴く、一吼が長く空に響くを

警間貯得三寸磐 惣見毛人斃猛熊

警の間に貯え得るは、三寸の磐 惣に見る、毛人が猛熊を斃すを

（刀を振るう勢いで起きる強風と雪に歩きかねているときに

果てしなく広がる空に、吠える声を耳にした

昔、髪の毛を束ねたところに9センチの矢じりをいつも持っていると伝えられる

勇敢なアイヌたちはたちまち 猛獣の熊を倒したよ

しかし、この夜は全員が下痢になり、大層困ったのですが、このことを後で十勝の人に話したところ「シユマフウレナイ川の水は、その水源に毒があるので、たった一滴口にしたらだけでも、下痢をしますよ。それをお椀に1杯も2杯も飲めば、すぐに死んでしまいます」と、教えてくれました。水の色がおかしいと思った時は、絶対に飲まないことだと改めて思いました。

3月9日

ここまでで、おおよその山や水脈の様子が分かったので、案内人のシリコツネとタヨトイを返